

KABSE 研究分科会応募用紙

次年度研究分科会の設置を希望される場合は下記を記入の上お送りください。

応募日	令和 6 年 3 月 29 日
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 区分 A <input type="checkbox"/> 区分 B <input type="checkbox"/> 区分 C
テーマ名	橋梁接続部の限界状態の設定とその設計
内容の説明 (300 字程度)	H29 年改訂の道路橋示方書によって、接続部が橋梁の 3 大構造要素として明確化されました。また接続部は耐震編との兼ね合いで、限界状態 1 からⅢの全てを規定する必要があります。しかしながら、限界状態の規定は明確ではありません。また、支承交換に関して、アンカー部が強靱すぎることで、橋脚天端における作業スペースが狭隘なこと等は以前から指摘されています。 このような現状に鑑み、KABSE 研究分科会において、調査研究を行い、必要な技術的提案を議論し、報告書をまとめることを考えています。
予定委員名 と所属	主査：大塚久哲（九州大学名誉教授・大塚社会基盤総合研究所代表） 副査：川神雅秀（防災構造工学研究所） 幹事：玉井宏樹（九州大学土木工学科准教授） 幹事：増野希陸（大日本ダイヤコンサルタント） 委員：崔準ホ（西日本高速道路関西支社）・服部匡洋（阪神高速先進技術研究所）・浦川洋介（オリエンタル白石）・河邊修作（富士ピー・エス）・北林良太（オイレス工業）・川金コアテック・日本鑄造（山崎）・エムエムブリッジ（上坂隆志）・八千代エンジニアリング（川崎啓史）その他
活動予定期間 (区分 A のみ)	<input checked="" type="checkbox"/> 2 年（一年間の延長可能） <input type="checkbox"/> 1 年
連絡担当者	氏名：大塚久哲 所属：株式会社大塚社会基盤総合研究所 メール：orii.otsuka@mbr.nifty.com
備考	総会承認後追加委員を公募予定

※主査は KABSE 一種（個人）会員である必要があります。